

病理研修プログラム

指 導 医 上野 万里

研 修 期 間 基 本 コ ー ス 選 択 科 目 4 週 ～ 3 2 週
 小 児 科 ・ 産 婦 人 科 コ ー ス
 産 婦 人 科 主 科 選 択 科 目 4 週 ～ 2 0 週
 小 児 科 主 科 選 択 科 目 4 週 ～ 2 0 週

一般目標 (GIO) :

医療における病理の役割と業務の実際を理解するとともに、疾患を総合的に理解する力を習得する。

行動目標 (SBOs) :

1. 臨床経過・問題点を的確に解釈・説明できる。
2. 病理解剖の適応と法的遵守事項を説明できる。
3. 病理解剖の目的と意義を説明できる。
4. 病理解剖の手技を説明できる。
5. 御遺体に対して礼をもって接する。
6. 病理所見 (肉眼・組織)・病理解剖診断の内容を説明できる。
7. 症例のプレゼンテーションができる。
8. 病理診断の目的と意義を説明できる。
9. 組織検体, 細胞検体の提出方法を説明できる。
10. 病理標本, 細胞標本の作製方法を説明できる。
11. 病理組織診断, 細胞診断の報告内容を説明できる。
12. 術中迅速診断の適応と診断の限界を説明できる。
13. 病理業務におけるバイオハザードを説明できる。
14. 臨床医, 検査技師などのコメディカルと協調する。
15. 病理業務のコストパフォーマンスに関心をもつ。
16. 病理材料を用いる研究に対する倫理的配慮を説明できる。

方法 :

研修方法: 指導医あるいは臨床検査技師とのマンツーマンによる指導。共に、標本作製, 診断, 病理解剖などの実際の業務に携わる。必要に応じて自己学習する。

評価：

評価はE P O Cを使用し、自己評価及び指導医の評価を行う。